

○入院のみ 外来のみ 共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	胃癌	XP+HER	日常診療	術前化学療法	21日間
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済	○進行・再発	予定総コース
		その他( )			可能な限り

☆上記のうち該当箇所には○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1.8など)	投与経路
1	生理食塩液	500mL	9時間	d1(初回)	主管
			8時間	d1(2回目以降)	主管
2	<初回>				
	ハーセプチン	8mg/kg			
	生理食塩液	250mL	90分	d1	側管
	<2回目以降>				
	ハーセプチン	6mg/kg			
	生理食塩液	250mL	30分	d1	側管
3	アスパラカリウム	10 mEq			
	硫酸マグネシウム	10 mEq			
	生理食塩液	500 mL	1時間	d1	側管
4	アロキシ	1V			
	Dex	3A			
	生理食塩液	100mL	15分	d1	側管
5	シスプラチン	80mg/m2			
	生理食塩液	300mL	2時間	d1	側管
6	ゼローダ	2000mg/m2/日	1日2回	d1~14	内服
		C法		2投1休	
7	プリンペラン	1A			
	ゾルデム3A	500mL	4時間	d8	側管(並行)
8	ラシックス	10mg			
	ゾルデム3A	500mL	4時間	d8	側管(並行)
9	イメンド	125mg	化学療法施行前	d1	内服
	イメンド	80mg	1×	d2.3	内服
10	デカドロン	8mg/日		d2.3.4	内服

留意点 および 急性期 有害事 象等	<投与基準>
	・EF>50%とする。
	・HER2 陽性(HER2 3+または2+FISH陽性)
	・以前にS1が投与されていた場合、7日以上の間隔をあける
	WBC>2000/L、Neutro>1,000/L、Hb>8.0 g/dL、PLT>100,000/L、T-Bil≦施設基準値上限、ALT and AST≦施設基準値上限の5倍、ALP≦2.5 施設基準値上限の2.5倍、血清クレアチニン≦2.0mg/dL、PS≦2
	<有害事象>
	好中球減少(G3/G4:27%)、悪心(G3/G4:7%)、嘔吐(G3/G4:6%)、下痢(G3/G4:9%)、手足症候群(G3/G4:1%)、
	<減量基準>
	※一旦減量した後は増量は行わないこと
	【ゼローダ】
Ccr<30mL/min→投与中止	
手足症候群	
G2→G1以下になるまで休薬。回復後同量で再開	
G2 2回目、G3以上 →G1以下になるまで休薬。回復後は1段階減量して再開	
G2 3回目→G1以下になるまで休薬。回復後は2段階減量して再開	
【CDDP】	
50<Ccr<60mL/min→1段階減量(60mg/m2)、40<Ccr<50mL/min→2段階減量(40mg/m2)、Ccr<40mL/min→投与中止	
<その他注意>	
・高度催吐性リスクレジメンであるため day1~3 においてイメンド125mg-80mg-80mg の併用を確実に実施する。day2以降は状況に応じて制吐療法を追加する。	
・ハイドレーションは個々の状態で設定するが、原則、最低 2000mL~4000mL/日は確保すること。	
【HER】	
・初回導入は8mg/kgを90分で投与すること。原則入院で導入とする。2回目以降は6mg/kgで投与する。	
・初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間で短縮できる。	
・Her投与中は心症状の発現状況・重篤度等に応じて適宜心機能検査(心エコー等)を行い左室駆出率の変動を十分に観察する。	
・ブドウ糖溶液との混合を避け、本剤とブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。	
【ゼローダ】	
体表面積 1回用量	
1.36m2未満 :1,200mg /回	
1.36m2以上1.66m2未満 :1,500mg/回	
1.66m2以上1.96m2未満 :1,800mg /回	
1.96m2以上 :2,100mg /回	

参考文献	・Bang YJ et al.Trastuzumab in combination with chemotherapy versus chemotherapy alone for treatment of HER2-positive advanced gastric or gastro-oesophageal junction cancer (ToGA): a phase 3, open-label, randomised controlled trial.Lancet. 2010 Aug 28;376(9742):687-97
------	---

夜間、帰宅時、対応医師への連絡先	外来診療中:消化器外科外来(3058) 夜間・休診日:当直医(8219)
------------------	--------------------------------------